

バス事業に対する群馬県知事への支援要望について

一般社団法人群馬県バス協会の佐藤俊也会長（関越交通株式会社代表取締役）と関根福寿副会長（群馬中央バス株式会社代表取締役）は令和3年11月5日（金）に山本一太群馬県知事を訪問し、佐藤会長から約2年間の新型コロナウイルスによる影響により、県内の乗合バス、貸切バス事業者の経営が非常に厳しい状況にあることをご報告（別紙要望書及びグラフを参照）しました。

そして、今までの群馬県からのバス業界に対する各種の補助に対する御礼を申し上げるとともに、このままでは県内のバス事業経営が困難な事業者が増え、路線の休廃止、観光バス不足等の事態も想定されることから、さらなる支援を賜るよう要望しました。

山本知事からは、バス業界の経営が大変厳しい状況にあることをしっかり受け止めて参りたい。また、新型コロナウイルス感染症が落ち着いてくればと思っているとのお話がありました。



山本知事（中央）に要望書をお渡しする佐藤会長（左）と関根副会長（右）